

**【ふるさと関連便り】** (写真：3ヶ町広報紙・郷土紙他)

島では伝統文化が脈々と継承されています。本号ではこれらを紹介し、行事の本質は先祖崇拜、五穀豊穡、健康祈願であり、大自然との深い係わりが伺える。

**【イッサンサン】** 旧暦8月 戊申(つちのえさる)の日

犬田布・木之香集落伝承文化。餅貰い(ムチムレ)行事の一つ。この地区の行事は案山子のイッサンボー(来訪神)が子供達と家々を廻り歓待される。今は新暦の8月末か9月実施。



**【浜下り・夏目踊り】** 現在は月遅れ盆直後の土・日曜日井之川集落の伝統行事。海岸に「浜ヤドゥリ」と簡単なカマドを作り、ここに集い先祖へ感謝し、酒肴を交わす。

本来は旧盆後の丙(ひのえ)丁(ひのと)戊(つちのえ)3日間の行事で「浜下り」はニライカナイ信仰や祖霊祭祀、稲の豊作感謝など。夜半からは家々を訪問し夜を徹し踊る。



**【ネンケ】** (水掛け) 月遅れ盆直後の日曜日午前

亀徳集落に残る伝統行事無病息災を祈願する行事。亀徳集落の県道沿いで午前10時一斉に水掛けがスタート。誰彼かまわずに水を浴びせて伝統を繋ぐ。



**【むちたぼり】** 送り盆 新暦8月15日

手々集落の伝統行事。祖霊祭祀として15日夜、「ムチタボリ」は行われ老若男女が三味線と太鼓で踊り家々を廻って五穀豊穡を祈願。装束が独特。



**【十五夜祭り】** 旧暦8月15・16日

下久志集落が数百年の伝統を誇る一大行事。茅ふき小屋「サンシキ」を仮設。

中秋の名月の下で交流し絆の宴とともに新生児の健康を祈る「ミハマクシ」や、「ハンタ石(力石)」の力自慢、伝統芸能などで慰労する。



**【うなんぎゃなし祀り】** 祭祀：新暦2月の最終日曜日

母間集落に代々棲むウナギ神様祀り。明治10年頃、大火の延焼を福川に棲む「大ウナギが消火した」との言い伝えを祀り、住民の無病息災を祈る。



**【会務報告】** H31年4月1日～R2年3月末迄

- R01.05.25：関東徳高会役員会・令和元年総会企画
- R01.06.01：関東安陵会(大高)総会 松山会長出席
- R01.06.09：徳之島「夢」振興会議総会 松山会長出席
- R01.06.16：関東徳州会総会 松山会長出席
- R01.07.14：関東伊仙町会総会 松山会長出席
- R01.07.28：関東徳之島町会総会 松山会長出席
- R01.08.03：関東徳高会役員会①・総会案内発送
- R01.08.04：関東前田ヶ丘(大島北高)会 松山会長出席
- R01.09.01：関東徳高会役員会②・総会準備
- R01.09.08：令和元年 総会・懇親会 「きゅりあん」
- R01.09.29：関東天城町会総会 松山会長出席
- R01.10.24：関東徳高会旧事務局閉局事務処理
- R01.10.27：関東徳高会役員会③ 新宿西口魚民
- R01.12.01：関西徳緑会 柿ヶ谷イサニ崎 牧幹事長出席

**【会計報告】**

報告期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

収入 (円)		支出 (円)	
前期繰越金	492,334	総会・懇親会費	474,559
総会会費	305,000	役員会議費	28,580
総会寄付金	125,000	通信・消耗品費	199,471
来賓祝儀	100,000	郷友会祝儀祝電	116,076
運営協力金	268,800	交通費	1,290
本部支援金	0	雑費	0
役員会余剰金	0	(小計)	819,976
利息他 雑収	1	次期繰越金	471,159
収入合計	1,291,135	支出合計	1,291,135

上記の通り仮報告いたします。

正式には会計監査を経て改めて報告いたします。

関東徳高会会長 松山 哲則 印 省略

**○関東徳高会前事務局閉局事務処理 R 1.10.24**

当会の事務局を(株)荏原不動産(豊正弘社長)から医院企画に移転しました。係わった旧役員で事務帳票の処理を終えました。平成22年からの協力に感謝!



**○関東徳高会役員会 令和元年を閉める R 1.10.27**

去る9月に開催した総会の反省と年間会務報告を確認。ホームページに会報掲載を決め、宮原たつ子さんに委託。



**【あしがき】**

新型コロナウイルス大騒動です。新常態化を拓こう！緊急事態宣言を初体験する中、医療現場の困窮に同情し、反面、行政のデジタル化不備の露呈は裏切られた思いです。お陰様で会報も10号を数えました。多くの篤志会員のご支援で6号からはカラー印刷化が実現できました。感謝しつつ継続発行の吟味もしたい。(文責：喜多正吉)